

いはき新報

発行日 五月十五廿五三
 福島縣石城郡平町長橋町四七
 發行所 いはき新報社
 編輯兼發行人 高木 喬
 印刷 高木 喬
 本定額 一月十錢 六月廿錢
 廣告料 場所指定十錢増

愛町の諸氏

傳染病を媒介する

恐しき悪魔蠅を捕りませう
 蠅……今の一匹後の萬匹

別稿の如く本社主催傳染病豫防大懸賞蠅取デーは平町役場、平警察署、平消防組、石城醫師會、平衛生會、平看護婦會、平町青年分團、各新聞社後援のもとに明十六日より三日間午前八時半より午後四時まで平町役場庭内に片倉製菓株式會社の厚意による大テント受付場を設け蠅捕獲高により抽籤券、牛印、カモキ印、ハへ取紙並にリボンハへ取紙、イマズハへ取粉を差上げます。

悪疫媒介の恐ろしきハへを徹底的に捕殺されん事を望む。非常時に於ける世人は肉體に病弊の道をたどりつゝ、あります。此如不幸にして我平町に傳染病の大流行が来た場合我等の一家一町は倒れ延つては國家滅亡に關する重大事でありませう。此の恐ろしき悪疫に對して稍々ともすると吾人は等閑にせんとの傾向があるので本社はこれを甚だ遺憾として茲に懸賞ハへ取一を開催せし處幸ひ諸氏の御後援と御賛助を得た事は心から感謝の意を表す。

いはき新報社

高木 喬 司

傳染病 豫防

大懸賞附蠅取デー

七月十六日より三日間

蠅百疋以上取つた方へ抽籤券と牛印、カモキ印ハへ取紙、リボンハへ取、イマズハへ取粉等を差上ります。

懸賞
 一等金 五圓 也(商品券)壹枚 場所 平町役場内
 二等金 貳圓五十錢也(全) 貳枚 抽籤日 七月十九日
 賞 三等日の丸國旗壹本當 二十本 發表日 各日刊紙

抽籤は厳正に平町長、役場員、警察官、各新聞社長、各支局長の諸氏に御願致しました。
 當選者は抽籤發表後五日以内まで平町長橋町四七いはき新報社高木宅まで御出下さい。以後は無効になります。

御注意

- ◇食物は成る可く煮焼し生の物を食はぬことに致しませう
- ◇飲過ぎ食過ぎを慎みませう
- ◇食物や食器等にハへのつかぬ様覆をませう
- ◇調理前及食前は必ず手を洗ふことにしませう
- ◇腐敗しやすい食物は喰はぬことにしませう
- ◇住宅の周圍を掃除し臺所を清潔に努めませう
- ◇夜は腹巻をして寝冷せぬ様注意しませう
- ◇頭痛、發熱、嘔吐、下痢した時は早く醫師の診察を受けませう

傳染病媒介をする恐ろしいハへを

捕りませう!!!

後援
 平町長 青沼 鋒太郎
 平警察署長 横山 宗延
 平消防組頭 井上 茂作
 石城郡醫師會長 酒井 國三
 平衛生會長 市原 卯太郎
 平看護婦會長 清野 キヨ
 平町長 青沼 鋒太郎
 各新聞分社

「おたより」

平町南町松村醫院院長松村鐵朗氏長男名古屋醫科大學齋藤外科にて専心醫術を研究されつゝある松村享氏は今回の本社主催蠅取デーに貴重な蠅に關する原稿をよせられたが残念ながら紙面の都合上常磐毎日新聞社長川崎文治氏の厚意に依り同紙に掲載されます。

御無汰致しました。こちらへ参ります時には色々御配慮を賜はり誠に有難うございました。此の手紙と一緒に原稿御届け致します。(常磐毎日紙掲載)見るからに蒙々たる雑文御目にかけるのも恥かしい位です。一日で書き撲つたのですから随分誤字や變な個所がある事と存じます。又、あまり長たらしくなりましたがどうか切り取つて短かくなさつて結構です。三日前に父の方からこの事を之つて寄こしたのでありますが速い方がよいと思ひましたので貴方の方へ御届けする次第です。名古屋は暑くて毎日汗の生活です。齊藤外科には只今來年四月東京で開かれる日本外科學總會への宿題「腹膜炎」が下つてゐますので一同その完成に努力してゐます私もその一部分の「腹膜炎血液の状態」と「血行細菌の運命」の二小題をやらせられてゐますので、この七月の中に一當り片づけて八月上旬頃休暇を得て歸郷したい考へです。又その節は御伺ひして色々御話うけたまわりたいと考へて居ります。

七月九日 松村 享

衛生特輯號掲載につき

本社主催の快報！ 傳染病豫防大懸賞蠅取り計劃並に衛生特輯號發刊に當り石城郡醫師會長酒井國三郎、松村醫院長、藤沼醫院長、諸氏が喜んで所見の一端を披露された事を感謝すると共に郷土の生める醫界の泰斗壯少醫學博士諸橋鐵彌氏の心血を注いだ峻厳貴重なる快稿を本紙に發表し得ることを甚だ欣快に思ふ。乞御熟讀を……

眞の衛生は……

自覺と團結から

醫學博士 諸橋鐵彌

「貧困の原因の六割は疾病なり」との内務大臣の仰せの如く、吾らはその悲惨な實例を日常多く見る事が出来る。

病氣に罹れば醫者への藥價、看護費養生費と多額の出費がかかるばかりでなく病氣の爲め働けないで失業する、或は家族の病氣の爲め商賣の障りになると云ふ二重の經濟的損失を蒙る。この損失は國家的に見ても蓋し莫大なものがある、病氣はたゞに肉體の苦痛を與へるばかりでなく、かくも經濟的損失の多大なることに想到すれば、その病氣を未然に防止する衛生保健の最も賢明な策である。

或は云ふは易く

行ふは難し、實際上病氣をすべて未然に防ぐ様子が出来得やうかとの疑問あるかも知れぬが、私はこの疑問に對して確信を以つて

數の病人と貧乏人を作つてゐるのは、要するに世人が衛生保健に就ての自覺なく、病氣の恐怖に對して無頓着過ぎる結果なのである。

兎角世人の惡癖として、自分自身や家族の病氣には大いに騒ぐが、他人の病氣となれば對岸の火災視する傾向がある。日本中に百萬人の肺病患者があらうとあるまいと、自分さへ健康なら衛生法規など無視してかまわず平然と公德を守らぬ様な事をする。之は間違ひ

すべて病氣の原因は

天罰にも非ず、運命にも非ず、その由來する社會的並びに個人的衛生の不完備攝生の不充分たる原因があつて、襲來するものなることを知らねばならぬ。

宜しく運命觀や個人主義的無頓着を脱却して、人為的合理的の豫防衛生を講ずること、新人の任務なのである。

すべて文明が進めば

病人も殖えて行く、交通の複雑のため、インドや上海からコレラやペストも渡つて來れば、工業の發達は、外傷や職業的疾患を増加し人口の急増は結核を

である。對岸の火災ごとく飛火せんとは限らぬ。社會の疾病は何時かは自己のかる病氣なりと考へて豫防する處あらねばならぬ。

又世人の性癖に悪い處は病氣を迷信的に考へたり宿命的に考へて、病氣になれば「仕方ない」とか「死ねば」天意だとか遠觀して、あまりに無抵抗主義、成り行き主義であり、之を溯つて病氣の眞因を批判探究して人為的に之を豫防すると云ふ熱意に缺けてゐる處がある。

近年歐洲各國では年々歳々人間の平均壽命が延びて行く、然るに獨り我が國に於てはその平均壽命が縮小して行くこと云ふ嘆すべき統計がある。之は即ち彼地にあつては、衛生設備が次第に向上するにも拘らず、日本人は無自覺で、衛生問題などお役人に委せ切つてる酬むなのである。

トラホームに就ても

同様に、兩眼を赤く腐爛させてる人達を見ると誠にお氣の毒の話だが之は文化人の恥辱である。これに政府のトラホーム豫防法であるが、それに許り依頼して安閑としてゐるから何時迄も駄目なのである。トラホームの罹病率は千人の内百四十四人ある。またたくまに外出も出來ん程怖しい話である。眞の力は民衆の自覺より生れる。自治體なり青年團なり協同團體なりが率先して、トラ退治に努力したなら、その根絶は容易な事だらうにと考へられる。

昔は農村は健康地であり都市は不健康地なりと云はれてたが、今日に於ては正

廢と相俟つて益々この惡病の猛威をたくましくしてゐる先頃の結婚解消問題等は單なる一小劇であつたが、人類の性病に依る將來は蓋し戰慄すべきものがある。

之を根絶するは、性病豫防法規などの末梢的對策に非ずして、寧ろ根本的に民衆の自覺と團結とより生るゝ風紀の改善と道徳的結合と醫療の普及徹底に要望せねばならぬ。

にその反對の現象である。農村に於ける結核患者の數は決して都會に劣らない。更らに傳染病の罹病率に到つては、斷然都會を凌駕してゐる。現代交通の發達と社會の複雑化は、パチルスの傳波に對し決して都市農村の區別を附さない一様に蔓延する。この際都會は幸ひに衛生設備が完備して來てゐるが、農村のそれは甚だ退歩してゐる。それが農村不健康の由來なのである。

飲料水と下水

住宅と營養とは、衛生の根本である。百年前に清浄なりし河川や井戸水も、工場建設や山の開墾によつて容易に汚濁される。

農村に行つて飲料水の清潔に驚くことは多く、又汚水住宅被服等に到つては、舊態依然どころか惡化して居り、其處に何らの近代衛生的見解のあるを見ない

結核に感染したる女工の里歸りに依つて、一家族が結核で斃れた例もある。昔の儘の日光通風の長な家

造りは、結核菌の繁殖を助長する。農村に寄生虫の多い事は實に千人の中七百三十人餘と云ふ。農村兒童に見受けられる顔色の不良發育の不良はその結果だと考へねばならぬ。更らに營養の不良は國家の大痛報事である、人間は肉と野菜穀物果實の混合に依つてのみ完全なる生存を續ける。漁村民が魚の偏食をしたり、農村民が野菜の偏食に陥たりするのは好まからざることである。

殊に乳幼児の哺育に就ての無理解は往々驚く可きものがある。粉ミルクや米粉の汁でばかり育ててゐる人があるが、危険極まる無知である。ビタミンやカロリーの智識を普及指導すること、この際農村先覺者にとつて貴重な義務である。

要するに衛生の完備してゐる生活は天國であり、然らざる現代は針の山にも比すべき地獄の生活である。と云ふも過言ではあるまい。

此の社會は人間共同の社會であり、農村はお互の安住土地である。一人の人がもしも不衛生の結果病氣になれば、その爲周囲の人達は衛生的に汚辱されてしまふから、個人個人の衛生が必要であり、更らに進んで協同精神の下にそれらの衛生的事業の發展を心掛けねばならぬ。

例へば、スポーツの奨励可なり、傷害の豫防及び救急設備可なり。兒童愛護、

母性保護、衛生週刊、結核豫防デー、安全週間等之らの催しは決して都會人へのみ必要なものではなく、今日に於ては寧ろ農村に於て、一層重要な意義をもつ事となつたのである。更らに傳染病豫防注射、疫病のワクチンの分與、避病院の完備等皆緊急の問題であり、更らに進んで医療機關の普及改良を畫つて疾

蠅の話

醫學士 松村鐵郎

蠅は動物學上雙翅類に屬するもので此の蠅の種類には「家蠅」「黒蠅」「金蠅」「しほ蠅」「さしはへ」「馬蠅」「牛はへ」「かひこのうじはへ」等の種類があります。此等の内で最も人間に接近して常に人間の住む家の内に居て毎日皆さんを惱まして居るのが「家蠅」であります。

【家蠅の体型】 口器は下唇のみよく發達して長く其の先端が平く食物を舐めるのに適し眼は複眼と單眼とを具へ胸陪背面には四條の黒色線があり肢は長く末端に二個の鉤爪と吸盤があつて其面には短い毛が密生し且つ粘液を分泌して居るのでよく天井や滑かな硝子面でも何處へも容易に止る事が出来るのであります。

【蠅の繁殖】 家は牛馬の糞便塵埃人糞其の他動物性腐敗物の堆積した所へ卵を

病の早期治療を受けしめる様地方民は自覺を以つて進まねばならぬ。人間最悪の受難は生老病死であり、總べての人間の努力はこの大敵に向つて集中されねばならぬ。

「民衆よ、もつと、衛生保健に目覺めて呉れ」と私は一隅から絶叫し、此の蠅取りの重大意義を力説すると共に、この催しを衷心から感謝するのである。

の驅除法についての認識が確然としていない様であります。今今蠅の病原菌運搬の形式につき大略を述べて御参考にしたいと思ひます。此の形式にも三つあります。第一の体表面に病原菌を付けて運搬するので此れは蠅の体表面にある無数の密毛に病原菌を附着させて飛び上るのであります。或る學者の報告には一匹の間に八十萬乃至五億の細菌が付いてゐると云ふ事があります。次に口の先のきは楕圓形になつて居て其の部に横に皺があり唾液が分泌されて何時でも潤ふてゐるので細菌の附着運搬には好都合なのであります。又足の先には吸盤があつて其れから常に粘液が出て居るので細菌が附着し易く腐敗物に止る毎に幾萬か細菌を附着させて飛び廻るのであります。

に電氣の球や傘に圓形の黄褐色の斑点があるのを見るでしよう此れは其の糞で其れを同じ形大で乳白色をしたのが吐物であります。糞をするのが一日四回位ですが吐嘔するのが一日十二回から十六回であります。此の糞や吐物の中には色々な病原菌が多数居るので誠に恐ろしいのであります。第三は蛆の時代に体内に迷入した細菌が糞になるまで生き居て糞をする時代や産卵する時に体外に排出されるのであります。

以上のような形式で腸チフス赤痢コレラ肺結核等の傳染病を運搬媒介するのであります。ですから最も危険である事が確然と御判りでありましよう。

處で其の驅除としては腐敗物を一定の場所に取り集め糞箱には完全な蓋を施して其の出入を禁じ家の中には一匹たりとも入れない事を考へ塵箱の底には漂白粉を撒布するか或は石油乳劑を注加して其の發酵を防ぎ又成虫は断然捕殺する事が最も必要な事であると思ひます。以上

いもので、一度量に生産されたら却々滅亡させることが出来ませんから始終手がけて便所の換氣をよくし、度々石油乳劑か生石灰、硫酸石灰を撒布して怠りなく注意すれば、さうまで湧くものではないと云ふ(文責記者)

害虫蠅を驅除せんには

平町民の共同一致と

國家的公共的に其の手段を講ぜねばならぬ

醫學士 藤沼平次郎氏

いはき新報社高木君が懸賞附ハエ取りを企てられたことは、時宜に適應した事では余は喜んで所見の一端を披瀝しやう。其の習性として人糞や略痰其の他の不潔物を無暗に舐める、彼は大量の食糧であつて、一日の間に自己の體重に超過する程の量を啖ふことが稀でない。而して、直ちに飲食物に集まつて來るのであるから、色々の病原菌を媒介する事は想像に難からぬところである、若し「チブス」患者の便に附着すると、其の際數百萬個の菌を啖ひ其の飛び去るとき、肢にも無数の菌を附着するのであるが、其の糞點中には無数の病芽を含むものである。夏期室内の窓に一日間少くも一千乃至一萬の糞點を附着す壁紙、廊下、天井、柱の如きは其の數算ふ事が出来な

暑中御伺

謝記事並に廣告順列不同

- 酒井 國三郎
- 市原 卯太郎
- 松村 鐵郎
- 藤沼 平次郎
- 高久 忠
- 金成 忠
- 大森 義
- 大和田 勇
- 増田 郡
- 諸橋 鐵
- 高木 精輔

とジウの箱ミゴ
治退へハの所便
石城 郡長 井國 三郎 氏語
石城 郡長 井國 三郎 氏語
石城 郡長 井國 三郎 氏語

イマツ蠅取粉を推薦す

農作物の害虫退治には別に

特許 **イマズ殺虫劑**あり

衛生上各戸に必ず

一罐は備へられよ

▼ 手取り早い試験法 ▲

蠅ヲコツブニ入レ紙ニテ蓋ヲ爲シ穴ヲ明ケ蠅取粉少量ヲ落シ込ム時ハ蠅ガキリク舞シテ斃レル有様ガ良ク分リマス又蠅取器ニ振り掛ケテモ同様デス

◆ ハイ、ウチ退治

▼ 蠅の集る場所(室内、臺所、便所、塵捨場等)へ撒布すれば五分鐘経てば蠅は一匹も居なくなり且つ薬品に觸れた蠅は、他の場所でも必ず死にます。

◎ 尙室を閉め切つて撒布すれば蠅は逃げ出す事が出来ませんから、室内で全部死にます。

▼ 極少量で効果がありますから、御座敷に用ひられても室の汚れる恐れは少しもありません、又散布後、掃き出されても、効力に變りはありません。

▼ 便所、塵溜、溜水、下水其他に散布すれば、蛆やボウフラが死に、蛆や蚊の發生を防止します。

▼ 本品の特徴は、親蠅並に蛆退治として効力偉大且つ安全に使用し得るゝに在ります。

◆ 南京虫退治

▼ 南京虫退治には別に【南京虫用】

特製 **イマツ蠅取粉**あり

◆ 便所臭氣止

▼ 便所臭氣止には別に最新式芳香性の

防臭殺虫 **イマツ芳香油**あり

● 効力カンブラ油、片腦油の二倍●

▼ 石鹼を加へず其儘水に溶かして使へる便利な家庭園藝用 **イマツ殺虫劑**あり

大阪市東淀川區三國本町

イマツ 蠅取粉 殺虫劑 製造元 **イマツ化学研究所**

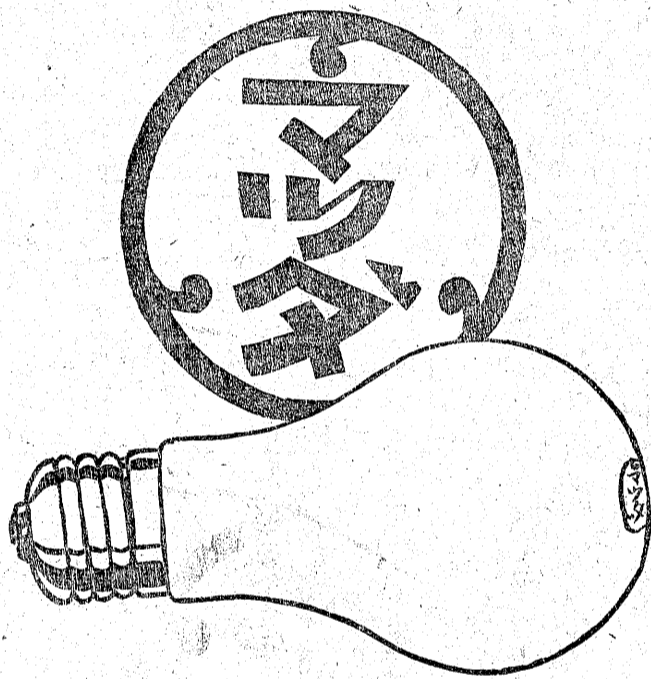
暗い行燈から……

明るい…… **マツダランプ**

常磐卸元

日東商會

平町白銀町 電話四二八番



特約販賣店

- 一丁目 常盤屋時計店
- 二丁目 古山電気商會
- 三丁目 大谷時計店
- 五丁目 磐城工業商會
- 新川町 木村電気商會
- 田町 平マーケツト
- 南町 常磐ラヂオ商會
- 湯本町 東雲堂藥店
- 小名濱町 白石藥局
- 植田町 磐城屋商店
- 浪江町 松本支店
- 原町 柴田電気商會

入院室 手術室 完備

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌

新川町二七番地 電話四六四番

血液検査 火、木、土曜日

高木精輔

度量衡器

關内藥局

電話四〇番

- ◆ 營業課目 ◆
- 一、モリス資金貸付
 - 一、擔保附貸付
 - 一、信用貸付
 - 一、有價證券買賣
 - 一、其他一般貸金業務
- 常磐モリス株主ノ幸福
- 一、株主ニハ拂込金ノ倍額他ニ
 - 一、御貸付モ致シマス
 - 一、株金ニ對シテハ年四分ノ報
 - 一、賞金ヲ差上ゲマス
 - 一、株主ニハ何時デモナラマ
 - 一、御不用ノ場合ハ證券會社デ
 - 一、何時デモ引受致シマス
- 福島縣平町字十五丁目廿六

常磐モリス商工助成株式會社

御希望の方には「常磐モリス營業案内」贈呈致します

開業お知らせ

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

齒科口腔外科

日本齒科醫學士 鈴木喜政

内郷村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

暑中御伺

【順不同】

小田吉次

西村屋藥局

磐城炭礦株式會社

萩原申八

江口忠一

明治生命保險株式會社 代理店

大一屋根本商店 電話一三番

大衆奉仕を

念願とする

マルトモ書店 電話二三四番

マルトモ運動具店 電話五九七番

マルトモ食堂 電話一三三番

社告

キユーピー堂大谷某なる者衛生映畫公開の名稱のもことに本社と恰も關係ある如く各方面諸氏から廣告を詐取したるも右は本社と一切關係無者に付此段社告に及候

はき新報社